



かしん 鹿児島信用金庫 情報誌

IKIKI

いきいき 2016
Vol.3

人、ふれあい、街、いきいき。

- 第20期かしん経営大学
(地方創生☆政策アイデアコンテスト2016)
- かしんの杜
 - ・ 経営者フォーラム
吉野家ホールディングス会長 安部 修仁氏
 - ・ 緑の感謝祭
 - ・ 硬筆コンクール
- ビジネスマッチング
 - ・ 南の逸品商談会 in Tokyo 2016
 - ・ 2016“よい仕事おこし”フェア(城南信用金庫主催)
 - ・ かしんチャレンジマーケット



Kagoshima Shinkin Bank



鹿児島信用金庫

情報誌「IKIIKI」 Vol.3 発刊にあたって

皆様には、平素より鹿児島信用金庫に格別のお引立てをいただき、誠にありがとうございます。日頃のご愛顧とご支援を心から感謝申し上げます。

昨年10月に創刊いたしました当金庫の情報誌「IKIIKI」も今回でVol.3となりました。「IKIIKI」Vol.3では地方創生に係る取組みの一つである「かしん経営大学」における「地方創生☆政策アイデアコンテスト2016」への応募に向けた取組み状況や、「かしんの杜」による地域貢献活動など多くの情報を掲載しております。本誌に掲載されている記事の中から一つでも皆様のお役に立つ情報が提供できたら幸いに存じます。



鹿児島信用金庫 理事長
後藤 孝行

contents

■ 鹿児島信用金庫の歴史

4 防空壕で業務をつなぐ (南日本新聞記事より)

■ KASHIN SPECIAL REPORT

6 第20期 かしん経営大学
9 ~地方創生☆政策アイデアコンテスト2016~

■ PICKUP 企業

10 キリシマ精工株式会社
"夢の工場"を目指す。Made in Kirishima "ものづくり"

■ かしんの杜

12 経営の杜 経営者フォーラム
吉野家ホールディングス会長 安部 修仁氏
14 緑の杜 緑の感謝祭
教育の杜 硬筆コンクール

■ ビジネスマッチング

15 南の逸品商談会 in Tokyo 2016
17 2016"よい仕事おこし"フェア (城南信用金庫主催)
かしんチャレンジマーケット

■ かしん最新 New's

18 チャリティー演奏会
アロハハワイアンフェスティバル
オロシティー夏祭り

■ KASHIN REPORT

20 「財界」~特集 九州経済圏の挑戦~に掲載
22 各種講演レポート
・ 鹿信ハッピー会連合会 会長会 講師 瀬戸口 浩氏
・ 鹿信ハッピー会連合会 定期総会 講師 榎木 孝明氏
・ 鹿信ハッピー会 市内ブロック交流会 講師 伊牟田 均氏

KASHIN IKEBANA CALENDAR



季節の花を生けて毎週月曜日 本店受付に飾っております。ぜひご覧下さい。

焼けた職場 社史に見る鹿児島大空襲 防空壕で業務をつなぐ

鹿児島信用金庫（鹿児島市）の前身、鹿児島信用組合は1945（昭和20）年、今の鹿児島市電・朝日通電停付近に本所、高見馬場、武町、武之橋に支所があった。6月17日の「鹿児島大空襲」で被災。その様子を書いた組合長の高牟礼清信（故人、敬称略）の日記が鹿児島信用金庫四十年史に残っている。

「18日午前3時半、組合事務所へ駆けつくべく自宅より洲崎小学校（現・城南小）付近まで行きしも火煙に阻止されて帰宅す。午前7時、事務所へ行ってみるに本所は全焼し、高見馬場、武町、武之橋各支所を巡視、之亦全焼

しいたり。日本銀行鹿児島支店長と打ち合わせ。3百万円の貯金非常払戻資金の融通方を申し入れて、承諾を得た」

鹿信組は仮事務所を本所近くの帝国銀行鹿児島支店（現・リッチモンドホテル鹿児島金生町付近）内に置き、翌19日には預金者への払い戻しに応じた。「職員の出足鈍し」と高牟礼は仲間の安否を気にしながら、専務や一部の職員と仕事をした。

7月27日には再度の大々的な爆撃を受けた。「本組合は8月1日、予ねて設備せる冷水町の横穴壕（防空壕）の前に15坪の

板葺の仮事務所を建てて、そこで業務を執ることにした」

年史から、社会的責任を果たそうとした必死な様子が伝わる。終戦後の9月18日、仮事務所を冷水町から汐見町の食糧営団事務所跡（現・泉町、豊産業機械販売付近）に移し、11月からは1人上限2千円の住宅建築低利資金の融資を始めた。「一般大衆の喜びと

信頼とを博する結果となった」と残る。

47年春、本店事務所を名山町（当時は六日町）の現在地に移転。高牟礼は支店網の拡大強化に乗り出す。営業地域を県全体に広げ、地方支店を次々と開設。年史には「県下の中小

企業者、勤労者並に一般大衆の便益を図らんとする試みは全国的に異例であったが、組合長は独自の見識と不退転の努力で実現していった」とある。

信用金庫法の施行に伴い、鹿信組は51年10月、鹿児島信用金庫として再出発。

3年後は柿本寺信用金庫を吸収合併して、県内に20支店、440人の職員を擁する大所帯となった。年史は「量的に九州一は勿論、全国でも有数の大信用金庫たる地歩を占めるに至った」とつづる。

現在の鹿児島信用金庫の本店前に並ぶ職員



1964年頃
当時の鹿児島信用金庫本店外観



戦時中の貯金通帳
「火の玉貯金 大東亜戦争必勝祈念」と記される
(画像は一部加工してあります)



KASHIN
SPECIAL
REPORT

第20期



第20期かしん経営大学カリキュラム

回	実施日時	テーマ・内容
1	平成26年 5月14日(土) 13:30~16:30	講義 「イノベーションマネジメント」 ワークショップⅠ 「地域の課題発見」
2	平成26年 6月4日(土) 13:30~16:30	講義 「創造的問題解決論」 ワークショップⅡ 「RESASの有効活用」
3	平成26年 7月2日(土) 13:30~16:30	講義 「新事業開発の方法」 ワークショップⅢ 「地域価値を上げるアイデア創出」
4	平成26年 8月6日(土) 13:30~16:30	講義 「企画書・プレゼン資料の作り方」 ワークショップⅣ 「事業アイデア評価」
5	平成26年 9月3日(土) 13:30~16:30	講義 「事業戦略」 ワークショップⅤ 「3Cについて考える」
6	平成26年 10月15日(土) 13:30~16:30	各グループ事前プレゼン ワークショップⅥ 「企画書・プレゼン資料作成」
7	平成26年 11月5日(土) 13:30~16:30	ワークショップⅦ 「企画書・プレゼン資料作成」
8	平成26年 12月17日(土) 13:30~16:30	発表会・卒業式 ※本店 6Fホール

かしん経営大学で
学ぶこと。

経営研修でインプット
グループワーク研修で
アウトプット

かしん経営大学では、経営に必要な知識や考え方、スキルを学ぶ座学研修とその学んだ知識を活かすため、グループワークによる研修を行います。それぞれのビジネスの基本になる研修と、異業種によるグループワークで1つのテーマに基づいた事業計画を作成する。業界の構造が違う中で、自分の業界との比較や考え方、方針、経営方法を他社（他者）から学び、活かして行く。異業種で一つの事業計画を作成する本大学での研修は、非常に貴重な経験となります。



第20期 かしん経営大学開校
鹿児島信用金庫が、1996年に開講した「かしん経営大学」は、本年度で20年目と歴史ある講座となっております。経営に必要な基本的な考え方や、発想の方法また異業種とグループワークを行い、事業計画を作成しながらより具体的に考え学ぶという事を行っています。

地域に根ざす金融機関として、それぞれの業界やお客様の発展が何よりの使命と考え、毎年様々な業界、世代の経営者から職員の方々にご参加いただいております。

学ぶだけでなく 人との繋がりを。

かしん経営大学では、学ぶことだけでなく、人との繋がりが、非常に大切なことであると考えています。経営者から中間管理職、そして新入職員など、自分の会社から一歩離れて考えることで、新たな発見があると信じているからです。

そして、人との繋がりは、仕事においても各事業者との取引等、新たな事業が生まれる可能性が多いにあり、人と人の繋がりが経営にも必要不可欠だと考えています。

かしん経営大学で共に学んだ卒業生の多くは今でも良き相談相手、経営の仲間として続いています。

今年度も新たな出会いがあり、一つのテーマに向かって積極的にご参加いただいております。

地方創生★政策アイデアコンテスト 2016

自分のまちを元気にするプランを作成中



地方創生のムーブメントを国民レベルで盛り上げる。内閣官房のまち・ひと・しごと創生本部が開催。RESASを活用して自らのまちを分析し、元気にするアイデアを募集。自分の地域や故郷の現状、そして未来がどうなるかとしているのか、知っていただき、考える機会に開催されている。

地方創生★アイデアコンテスト 2016 で検索

RESASを活用した事業プラン 地方創生★政策アイデア コンテストへの挑戦

20期と節目を迎えたかしん経営大学では、今期のひとつの挑戦として、内閣官房「まち・ひと・しごと創生本部」が開催する「地方創生★政策アイデアコンテスト2016」に参加します。

今期のかしん経営大学のチームは、7チーム。各市町村の職員の皆様方にもご参加いただき、当金庫のお取引がある企業の経営者や従業員等異業種が一体となって、まちを元気にする計画を作成中です。

地元・鹿児島を元気にしたいという思いは当金庫だけでなく、参加されているお取引様も同じ。こうした国の活動に賛同し、地元の方と情報を共有し、一つの目標に向かって進んで行く事も地域金融機関の役割だと思っております。

信金中央金庫から
講師を派遣

信金中央金庫の高田様にリーサスについてお話頂きました。リーサスの各マップの中から、ビジネスモデルの検討になりうる項目を中心に、実際に鹿児島市の観光地のデータをリーサスにて分析をする研修も行われ、リーサスにおける分析方法を学びました。

■ 今回の研修で学んだ
リーサスのマップ

- 産業マップ 稼ぐ力分析、特許分布図
- 地域循環マップ 地域経済循環図、配分分析
- 農林水産マップ 農業花火図、農産物販売金額、農業者分析
- 観光マップ From to 分析、滞在人口率、メッシュ分析、目的地分析
- 人口マップ 人口構成、人口の社会増減、企業数、付加価値額
- 自治体比較マップ 労働生産性、黒字赤字企業比率



審議役
高田 眞 氏
TAKADA SHIN

信金中央金庫
しんきん地方創生支援センター

それぞれの立場から分析。
そして、どう活かすか。

「データを読み取って使わなければ意味がない。自治体の方は、地域の活性化という観点から。経営者の方は、人口減少において、どういった影響を受けるのか、それぞれの立ち位置の観点で分析して、このリーサスのデータをどう活かすかが極めて重要になるのです。」
(高田氏)

産業マップでは、いかに一人当たりの生産性をあげていくか。また特許分布図を使用した特許を使用した商品・サービス・開発の可能性。地域循環マップでは、自地域における産業の内外の経済循環を分析することの重要性。農業における構造分析やアグリビジネスの可能性。観光ではエリア、スポットを分析することで見えてくる観光戦略の考え方やビジネスモデルの検討。人口減少におけるこれからのビジネスの在り方と生産年齢人口を確保することの重要性。自治体比較マップを分析することで、地場産業の現状や取引の安全性の検討等の指標になること。また逆の発想で生産性を向上させる抜本的なモデルを提案することができれば大きなチャンスがあるということ。

リーサスの各マップにおけるデータの使用方法や考え方。またそれに対して各立場からビジネスをどう展開していくの、がいいのかという事をお話いただき、今後のかしん経営大学での事業計画作成やそれぞれの経営に役立つ非常に貴重な時間となりました。

INTRODUCTION

かしん経営大学のチームを紹介。
各グループは、業界も年代も違う形で構成されており一つのテーマを設け、事業計画を作成していきます。
今年度は従来の事業計画作成に加え、国のビッグデータ“RESAS”を使用して作成します。各グループそれぞれのテーマに沿って卒業に向け、鋭意作成中です。



TEAM 鹿児島チーム

- 山口 秀典 ヤマグチ(株)
- 正村 幸太郎 (学)鹿児島学園
- 宇都 泰平 (株)創造経営研究所
- 高山 未央 鹿児島信用金庫

PROJECT BAY-s KAGOSHIMA project ベイスカゴシマ

“自分たちが楽しめるもの”をテーマにグランピングを計画。ドルフィンポート前にある実際の敷地利用案として始まり、伝統をプラスすることで、鹿児島の人、若い世代の活性化と流出を抑え、その活性化の波を観光へと繋げていく事業を計画中。



TEAM 霧島チーム

- 松永 俊宏 霧島市役所
- 美坂 雅俊 霧島市役所
- 梅木 龍一 (株)九州タブチ
- 小石 高嗣 (有)エステシステム
- 油田 哲平 (株)トラスバース
- 岡元 壮司 家族湯一番
- 岩崎 みどり (株)日本プロセセンター
- 山野 悠樹 鹿児島信用金庫

PROJECT きりしま黒ラーメンプロジェクト

産官学+観光が一体となり、霧島市の1次・2次・3次業者が連携し地域の食ブランドとして「きりしま黒ラーメン」を開発。霧島の魅力“温泉・自然”に新に“食”をプラスすることで地域活性化交流人口の増大、雇用創出、特産品販売増に繋げる事業。



TEAM 南薩チームA

- 東 忠孝 指宿市役所
- 小原 和彦 南さつま市役所
- 湯ノ口久仁子 イートアロフト
- 鈴木 芳乃 (有)御菓子司鳥越屋
- 有村 純頼 指宿シーサイドホテル(株)
- 山口 望 (有)加世田葬祭
- 日高 伸吾 鹿児島信用金庫

PROJECT 未来型湯治場のカタチ

南薩の素材(温泉+食+自然)を組み合わせた究極の健康体験を通して、地元から元気な人&まち造りに取り組むことで、魅力ある観光地を目指す!事業。



TEAM 西薩チームA

- 福山 勝広 薩摩川内市役所
- 山下 卓也 いちき串木野市役所
- 宮之原 聖 いちき串木野市役所
- 漆原 道友 (株)バスポート
- 中村 淳一 日高水産加工(有)
- 高濱 知男 (株)高浜蒲鉾
- 毛利 滋子 リ・デザイン工房
- 小川 洋平 鹿児島信用金庫

PROJECT シルバー自衛隊

人生経験豊かなシルバー世代が、郷土文化の伝承や様々な知識と技術をワークショップ等を通して地元の人や若い世代へ伝える。土地を有効利用し、隊員の食堂や情報発信拠点をづくり、地域の活性化に繋げる事業を計画中。



TEAM 始良チームA

- 花田 浩太郎 始良市役所
- 山口 武史 (株)アイケン
- 榮 宣丈 (株)LGS
- 犬伏 浩幸 (有)松島友の会
- 岩下 博洋 (株)山藤建設
- 鈴木 俊二 始良市市議会議員
- 永井 誠二 新誠工業
- 追立 雄人 鹿児島信用金庫

PROJECT 鹿児島どまんなか市場

始良市は、鹿児島県の県央に位置し、様々なデータから鹿児島観光へのアクセスが非常に良い事。その立地を活かし、鹿児島の【特産】【文化】【力】を集約し、今までにない販売形式や、更にICT サービス等を活用することにより、国内は勿論、海外を視野に入れた発信を行い、【地域】【県】【企業】が活性化・PRでき、【地域創生の拠点】となる事業。



TEAM 南薩チームB

- 寺前 秀紀 枕崎市役所
- 鶴窪 誠矢 南九州市役所
- 戸床 恵美子 (株)マルニフーズ
- 中村 広典 (株)中村屋
- 喜岡 典子 (株)森商店
- 下脇 翔吾 南薩食鳥(株)
- 前垣内 貴 鹿児島信用金庫

PROJECT 南薩若者によるコミュニティビジネス支援事業

「地域企業が地域人材を育成し、地域人材が地域企業を発展させる」をテーマに、高校生と企業が一体となり地域全体で地域の若者を育てる仕組みを創る。若者の地域企業への就職、地域経済の維持・発展、過疎地域の再生創造を目標に計画中。



TEAM 西薩チームB

- 中村 圭佑 (株)ノルム
- 深水 崇雄 深水刃物(有)
- 井上 利洋 日置市役所
- 大迫 久瑠実 日置市役所
- 橋口 賢一郎 (株)伊集院殖産
- 元吉 章郎 医療法人誠心会
- 川崎 航 (有)シーエス防災鹿児島
- 草留 高節 鹿児島信用金庫

PROJECT 日置市農業女子プロジェクト

日置市の農業を再生創造するためのコミュニティビジネスを開発起業することにより、農業女子起業家を養成する事業。人口減少が進む中、1次産業の承継と活性化、人口増加を図っていく事が狙い。農業女子にスポットをあて計画を作成中。

LISTEN 現場の人に聞く“かしん経営大学のこと。”



鹿児島信用金庫

理事・地方創生担当
西 哲郎

地方創生は、「未来の日本の在り方を大きく変えていく」という挑戦です。その中において、地域に密着している信用金庫の力がどうしても必要です。それぞれの分野で活躍されている方々をできるだけ巻き込んで、地域の総合力を発揮してもらいたい、そのツールが「RESAS」です。

第20回経営大学で「RESAS」を使って、まだ見ぬ将来のリスクに備えるために自治体と民間企業とかしんが臨機応変に対応し、これからの地域はどういうものであるべきか……この機会に探ってほしいと思います。



信金中央金庫

鹿児島県分室所長
堀江 博康

20周年を迎えた「かしん経営大学」の今回の取り組みは、われわれ地域金融機関が提供する金融機能とは別に、地域の主体である参加者一人一人が地域の発展について考える絶好の機会の提供と考えており、全国的に見ても稀有な事例であります。

信金中央金庫は信用金庫の中央金融機関として信用金庫とともに地域の発展と活性化に資する活動を行っており、引き続き支援させて頂きたいと考えております。



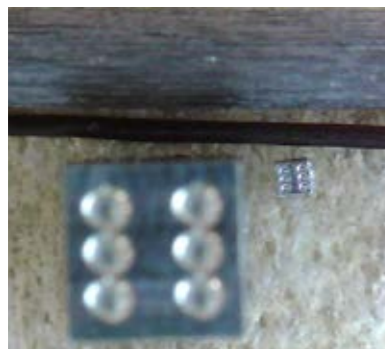
かしん経営大学
主任講師

株式会社創造経営研究所
代表取締役
宇都 幸雄

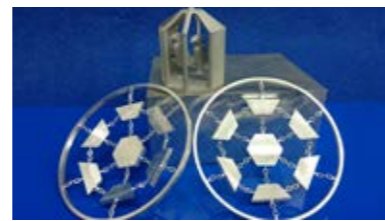
かしん経営大学の特徴は、異業種が集まり事業計画を創り発表するところにあります。毎年、6チーム程でメンバーの組合せをどうするかが頭を悩ませます。今回はテーマが地方創生という事で、地域毎にチームをつくりました。各チームがチーム力を発揮し、ユニークで実現可能な事業計画を創り上げるには、組合せも重要ですが、リーダーシップとメンバーシップが発揮される事が最も重要です。それには魅力のあるテーマ作りと共有化、そして実現への見通しを付ける事が重要です。

DATA

設立 2006年8月
 本社 鹿児島県霧島市
 国分川原918-7
 従業員数 31名
 事業内容 精密金属加工
 難削材 (KOVAR,SUS等)
 光通信・半導体・医療
 宇宙航空 etc
 ISO9001&4001
 www.kirishima-seiko.jp
 TEL / 0995-73-4311



▲ 世界最小 200μm(0.2mm)サイコロ
 カーブカット工法の応用により製作。
 ※写真上より、シャーペンの芯(0.5mm)
 髪の毛、世界最小サイコロ



▲ チェーン部分も一発で削り出される。



▲ カーブカット工法により削り出された
 真鍮ピラミッド

人の生み出す技術の力
 当社は、難削材(KOVAR・SUS等)の精密金属微細加工を得意とし光通信、半導体、医療、宇宙・航空の分野で事業展開を行っています。当社の強みである新工法カーブカット工法という技術は、通常製品ができるまでの従来要する行程を品質を維持しながら、一発加工で行う技術です。この技術の開発により、お客様に「短納期」・「コスト削減」・「品質の安定」という当社ならではの価値を生み出すことができました。会社として鹿兒島県の経営革新の承認を受けています。会社設立当時からの新工法の構想と自信がありました。設立時、精密金属加工の事業を行っていく上で何を主として展開していくのか。マシニング加工は応用が効くので、マシニングを主としていく事。そして、その中で大きいものを作るか、小さいものを作るか。これから世の中で造られるものがどうなっていくのか。また、以前代表が勤めていた会社で、製品の材料の仕入在庫が経営を圧迫していた経験もあり、微細加工を主としていくという形になりました。最初の頃は、皆で知恵を出し合い進めるが失敗も多く、設備も古い。その点を技術でカバーし、生まれたのが新工法。理想は女性のパート従業員でも扱えるようなジグを考案しようと現在進めています。製造業とは生き物。良い時と悪い

技術力をアピール。
 社長が元営業マンということもあり、会社の評判、影響というのは人の周りから拡散して、宣伝してもらい、関係各所や展示会にも積極的に参加。そこで、当社独自の技術力をアピールする。新規先など、難しい技術が必要なものであれば、当社から「造らせてください」とお願いし、サンプルを作成。ほとんどの先からOKを頂きます。当社の取引先は、メインがあるわけではなく、顧客のニーズに技術力で応えていく形。そうすると人が人を呼んで次のビジネスに繋がります。もう1つは、これから先どうなっていくのか、業界の動向や新しい技術の情報収集を大事にしており、次の展開や新しいビジネスに活かして行く。様々な形で技術者をアピールするとお客様の方から来て頂きます。

自らチャレンジして成長する
 当社にいる社員は、以前いた会社から共に成長してきた社員が多。新工法の開発から、リーマンショックの影響を受け、人員削減せざるを得なかった時期もあったが、その後、業況も良くなりその社員達も戻り、また共に働いている。会社は一つの枠の中であって、自分がどう生きるのかというのには、色んなものを勉強して、経験していけば、いざという時それで生きた人材への思いも、社長が以前勤めていた会社が倒産した経験を持つからである。そうして生まれた精神は、若い社員にも伝わり、マシニング等自分の担当分野だけでなく、他の部署・分野にも自分の仕事が終わった後チャレンジしている。新しい製品・技術開発の会議にも、自ら社員が集まり、知恵と技術を持って取り組んでいます。

夢の工場を目指して
 会社の夢・目標だけでなく、個人(社員)が自分の夢やロマンを一つ一つ追いかけて欲しい。夢や目標は、何をやるにしても必要だと考えています。社員が一人一人夢を持つ、そして、自分の会社を通して自己実現をしていく。そうした中で生まれた個々の技術力の結集で、当社は社会へ貢献していきたいと考えています。

“夢の工場”を目指す。 Made in Kirishima の “ものづくり”

キリシマ精工株式会社

社長は、元営業マン。
 創り出すのは、人の絆と夢。
 霧島から技術力で魅せる。



キリシマ精工株式会社
 代表取締役
西重 保氏
 Nishishige Tamotsu

今年で創業10年目を迎えるキリシマ精工株式会社。新工法カーブカット工法という独自の技術で、あらゆる業界へ事業展開。2008年/2016年、鹿児島県の経営革新の承認を受けるなど、その高い技術力を鹿児島から発信し続ける。光通信、半導体、医療、宇宙・航空等多岐に渡る精密金属加工を手がけ、お客様の新しいニーズに応え、今なお進化を目指して行く。

新工法カーブカット工法

応用が効くマシニング加工で新工法を開発。通常かかる工程を一発加工に短縮。それにより、顧客へ提供するバリューとして「生産工程の削減」・「コスト削減」・「品質の安定」を実現。それにとどまらず知恵と技術を持って、新しい挑戦を続けている。



▲ キリシマ精工の精密加工製品



浮いている「匠」の文字を押すと「匠」の文字が消える?!



▲ 本社・工場外観



▲ 工場内の様子

「つなぐ力の発揮」 かしの地域貢献活動

経営の杜

かしの杜
か 経 フ
し 営 フ
ん 者 フ
者 ー ラ ム

参加企業の成長・発展と人材育成を目的として、大いなる事業繁栄と地域の活性化を目指し、平成25年7月に「かしん経営者フォーラム」を開講いたしました。県内企業の若手経営者、経営幹部、後継者の方々を対象に、各界講師による経済・経営・財務・マーケティング・人事・労務などの様々な経営に関する勉強会を行っています。

第3期(平成27年6月～平成28年5月)は県内外で活躍する経営者を講師に招き、実際活躍されている経営者の経営哲学を鹿児島県の経済発展を担う次世代の経営者の方々に伝えるセミナー形式として開催いたしました。

第3期かしん経営者フォーラム カリキュラム内容

第1回テーマ

「企業経営と街づくり」

講師
株式会社 カワイ 代表取締役
宇宿商店街振興組合 理事長
鹿児島県商店街振興組合連合会
理事長 河井 達志 氏



第2回テーマ

「特化した商品開発で
全国へ営業展開、併せて
社内体制も180度方向
転換、人を大事にする
労務環境づくり」

講師
株式会社 マコセエージェンシー
代表取締役 五十嵐 芳明 氏



第3回テーマ

「逆境の経営から
事業継承までの軌跡
～今だからお話しできる
事業再生から
事業継承への道～」

講師
株式会社 吉野家ホールディングス
会長 安部 修仁 氏



第3回かしん経営者フォーラム

「逆境の経営から事業継承までの軌跡」
～今だからお話しできる事業再生から事業継承への道～

吉野家ホールディングス 会長 安部修仁氏



1949年生まれ福岡県出身。高校卒業後にプロのミュージシャンを目指して上京。バンド活動の傍ら吉野家でアルバイトを始め、1972年に正社員として入社。数々の逆境を乗り越え、アルバイトからトップに上り詰めたカリスマ経営者として知られる。

「賢者、愚者に学び。愚者、賢者に学ばず。」
という言葉がございしますが、私の今日お話しする事が、皆様の少しでもヒントになればと思います。(安部氏)

吉野家は、当時日本橋にあった魚市場に個人商店として誕生。その後、魚市場が築地に移転したのに伴い、現在の一号店の場所に店を構える。その後法人化を図り現在に至るが、長年の経営の中で、成長と倒産から再建までの道程と吉野家という企業の在り方をお話頂きました。

魚市場・築地という特殊な土壌で生まれた吉野家

「吉野家が、魚市場で生まれたのには意味がある。場内は、食のプロの人達が多く忙しい環境にあった。そのため、美味しさとスピードが必要であり、品質の部分での美味しさ、サービスの中でクイックサービスは魚市場、後の築地という土壌が育ててくれたのです。つまり吉野家の三要素である『うまい、はやい、やすい』の内の二つはそういった特殊なマーケットの特性で生まれたのです。」

価格競争という概念はなく、お客様・マーケットに適応していくか。

「吉野家には、価格競争という概念はありません。影響因子ではあるがあくまでも相対はマーケット(お客様)の期待や不満にどう向き合っているか、期待していくか。お客様が感じるバリエーションの中に、品質と価格という二つの要素に大きな影響を据えてサプライサイドが自ら進化していく。その進化が与える影響が、マーケットとお客様に影響し、また変化するものにどう適応していくかだと思います。」

吉野家のネオプレゼンス。かけがえのない存在感とオリジナリティを創り直す。

「そのテーマとして大きく4つ。ファミリィ、女性、シルバーというターゲットを新たに取込むというところでの①商品価値②サービス価値創り。それに伴っての店のイメージや雰囲気づくりという③モデル創り。そして常識をリセットして収益モデルの構築とそれに耐えうる組織の体制づくり④構造創り。サプライサイドは増え続けピークを越え、日本は人口も減少して行く中で、新しい価値を構築し、オーバースペックを変えていく。長期レンジが必要な時間をかけ、5年後にしか成果はでないかもしれないが、早く着手しないとそこにはいけないということです。」

「人育」には「10年と10億かかる」

「私は、吉野家のバリエーションを進化させ、継承させていかなければならないという役割認識が社長になった時から強かった。そういう意味では、創業者は自己実現の発揮を。二代目以降は、創業時創りだされた固有のものを未来にどういった姿形で繋いでいくかというところ。時代に合わせて変えるものは変えて進化させていくという役割だと思えます。今の社長を後継として説得するのに約2年半かかりました。社長業というのは、一つの事業をもう少し小さい規模でやるのが面白い。大きくなると何とも言えないじれったさのようなものがある。今の社長には、自己実現の発揮より使命感の方がステージが高いんだという事を伝えました。彼はその使命感でやるという事を覚悟してくれた。」

「私が準備したことは、予め年数を要して育てる事が必要だし、マネジメントはうまいけど、未来へのビジョンナリーな経営ができるかどうかというの、これはやらせてみるかどうかというの、これは当然スキルも必要。そして成果を上げていく。いくら役に立ちたい、新しい事にチャレンジしたいといっても、それにはちゃんとパフォーマンスを発揮できるスキルがないといけない。それはやらせてみると分かる。成果を見ながら向き・不向きと挑戦しているか、喜びを持っているか、成果を現しているかどうかの、成果のパワー。可能な限りそれは早い内からやっていかないと。だから私はおおげさに「人育」には「10年と10億かかる」と言っていました。」

～信用金庫のネットワークを活用した
ビジネスマッチング支援～

全国の信用金庫のネットワークを通じて、お客様の「売りたい」「買いたい」などの取引機会に役立つ情報を提供しております。また、本県食品関連産業の振興を図るため、県内生産者・食品加工業者の方々を対象に、首都圏や県内外に向けて食品を紹介し、県内7金融機関で構成する「鹿児島アグリ&フード金融協議会」の一員として、市場における販売ルートの開拓や販路拡大を目指す実践的な商談会の開催、県外信用金庫の主催する商談会に参加するなどのビジネスマッチング支援を行っております。



ビジネスマッチング

南の逸品商談会 in Tokyo 2016

平成28年9月1日～2日にかけて、池袋サンシャインシティ ワールドインポートマートビルにおいて「食の大商談会」として鹿児島アグリ&フード金融協議会主催による「南の逸品商談会 in Tokyo 2016」と北洋銀行・帯広信用金庫主催による「インフォメーションバザール in Tokyo 2016」の同時開催による合同商談会が開催されました。「南の逸品商談会 in Tokyo 2016」は鹿児島の食品を首都圏に向けて紹介し、市場における販売ルートの開拓や販路拡大を目指す実践的な商談会であり、商品開発に向けたニーズ収集、首都圏バイヤーとのネットワーク構築など、即戦力となる商談会となっています。



今回、鹿児島県全体で71社が参加。当金庫は8年前より「鹿児島アグリ&フード金融協議会」の一員として参加しており、当金庫のお取引先からは4社が参加されました。当金庫の出展者は全社出展経験があり、取引成約に



向けてバイヤーと交渉を重ねており、手ごたえを感じているようでした。また、サンプル品を送るなど、販路拡大につながる商談会であったとお声も頂いております。

2日間の商談会でバイヤーの来場数は4100社となり盛況でありました。また、三反園鹿児島県知事も来賓として出席され、鹿児島の食材を多くのバイヤーの期待にこたえられるように工夫したいと知事自らトップセールスをしておられました。鹿児島の食材を首都圏へ向けてPRするため、鹿児島と首都圏を繋ぐ仲介役としての役割を金融機関も担っており、当金庫は、お取引先の販路拡大などのビジネスマッチング支援として情報発信を継続していくものであります。

(南日本新聞記事の転載)



かしの杜

今年度の当金庫の取り組みについては、平成28年4月29日かごしま県民の森にて開催される「みどりの感謝祭」において、森林整備に取り組んでいる企業として、

当金庫では「みどり豊かな郷土」を次世代に引き継いでいくために、森林づくりや、環境緑化に取り組んでいます。「緑の杜」事業の環として、平成23年11月に「かしの森定期預金」を販売。当該預金の残高の一定割合を当金庫から拠出し、「公益財団法人かごしまみどりの基金」へ寄付を行いました。その後、平成24年には「鹿児島県」「公益財団法人かごしまみどりの基金」と「鹿児島県民の森の森林整備に関する協定」を締結、毎年、「チャリティー演奏会」等において皆さまから寄せられた募金の一部を寄付させていただきます。鹿児島県の森林整備に役立てていただいております。



感謝状を頂きました。また、平成28年8月18日には鹿児島県より「かごしまCO2吸収量認証制度」に基づき、認証書の交付を受けております。また、緑の感謝祭当日は、かごしま県民の森敷地内において、当金庫職員と家族による下草払い作業や、植樹作業などの森林づくり活動も同時に実施しております。



KKB硬筆コンクール

平成28年8月7日、当金庫が特別協賛している「第27回KKB硬筆コンクール」の表彰式が開催されました。当コンクールは、文字を正しく、整えて、丁寧に書くことを大切にすることを育み、文字文化の振興と発展に寄与することを目的としており、当金庫も「教育の杜」事業として第23回(平成24年)より協力しています。

第27回を迎える今回は、県内外の学校や書道教室等から4700点を超える応募があり、特別賞の62点をはじめ多くの方が受賞されました。審査委員長より「どの作品が受賞してもおかしくないほどの出来栄であった」との講評の通り、出展者の日々の研鑽と指導者の熱意が強く感じられる作品ばかりでした。表彰式では、特別賞の一つとして、鹿児島信用金庫賞を4名の方が受賞されました。

B硬筆コンクール特別賞受賞作品展」を開催し展示いたしました。また、アイギヤラリーでの展示後は、作品の一部を「KKB硬筆コンクール地方巡回展」として各営業店にて展示しております。



かしん チャレンジ マーケット

鹿児島モノ・ヒト・シゴトが繋がるマーケット 地域の活性化とお客様の発展のために。

鹿児島信用金庫では、「かしん経営の社」の事業の一つとして、かしんチャレンジマーケットをJR鹿児島中央駅アミュ広場にて開催しています。
開催から4年目に入り、様々な業種のおお客様にご出店頂き、商品やサービスのPRだけでなく、社員研修、ビジネスマッチングの場としてご利用いただいております。
このような事業を通して、お客様の事業の発展と地域の活性化に繋がればと考えています。



自社・商品・サービスのPR 従業員の売る気と技術の向上



【ポイント】

- 販売・PR方法を現場で学ぶ。
 - 商品、サービスのニーズや新商品の市場調査など消費者の声を聞く場に活用する。
 - 販売・研修の場として利用。
 - 他の出店者と新たに生まれるビジネスマッチング可能性。
- PRは重要です。販売において、自分なりのクロージング方法を見つける場に。消費者の声も参考になります。より良い商品・サービスになる可能性があります。直接消費者と触れ合うことで、人は成長していきます。自社の商品・サービスへの理解も。異業種との新商品やサービスの開発の可能性。また、PR・販売手法も参考になります。

ビジネスマッチング

2016 “よい仕事おこし”フェア

平成28年8月1日～2日東京国際フォーラムにおいて、城南信用金庫(東京都)主催「2016 “よい仕事おこし”フェア」が開催されました。本フェアは全国の信用金庫取引先企業をはじめ、行政機関、教育機関等、社会の各層の方々一堂に会し、`つながり、や`絆、を結ぶ機会を提供し、結びつきや助け合いの中から、経済の活力を取り戻すための新たな“よい仕事おこし”を実現し、日本を明るく元気にすることを目指しています。「東北復興応援」を目的として、2012年から開催され、東北地方をはじめ全国各地の自治体等に観光や産業のPR活動を行っていただき、被災地復興や地域経済の活性化、「東京と地方が共に栄える真の地方創生」の実現につなげることも目的の一つとなっております。5回目となる今回は、「熊本地震復興」の為、「熊本日日新聞社」も出展され、熊本地震の復興支援を



当金庫は今回初めて参加し、鹿児島県からは「公益財団法人 指宿市観光協会」様が観光ブースのエリアで出展され、来場者へ積極的に指宿市や鹿児島県をPRされていました。「東北・熊本復興支援」「地方創生」への取り組みとして、城南信用金庫が全国の信用金庫と手を携えてこのようなフェアが開催されることは非常に有意義なことであり、当金庫もその中でお手伝い出来たことは全国の信用金庫との絆を深めることのできる良い機会となりました。この絆を大事にし、「復興支援・地方創生」のため、鹿児島の魅力を全国に発信できるように、ビジネスマッチングの推進に取り組んでいきたいと思っています。



呼び掛けていました。また、新たに「地方創生」をテーマに全国82の信用金庫が協賛し、47都道府県から企業が出展されました。



出店者様の声



株式会社マジオネット
普通免許・二輪免許取得等全般
鹿児島市冷水町32-1
TEL:0120-251-555
www.magionet.co.jp

「かしんチャレンジマーケット」は、鹿児島の交通の中心である鹿児島中央駅で告知活動を行うので、知名度アップにはこれ以上ない条件が整っています。弊社の場合は、教習車を展示したり、ポスターを掲示したりするなど、業務内容上「集客・販売」よりも「広告宣伝」に重点を置いて出店しています。



ヘンタ製茶有限公司
霧島茶
霧島市牧園町下中津川11052-2
TEL:0995-77-2777
www.henta.jp

第1回の開催から参加させて頂いています。霧島茶と当社のPR販売で出店し、回を重ねるごとにお客様も増えてきています。県外や海外の方も多く、霧島茶のPRになります。また消費者の皆様と直接お話しする中で次の商品に生かされたり、実際販売をしてお客様の反応を見ることが出来るのが魅力です。



株式会社ノルム
排煙・換気設備設計施工等
鹿児島市下荒田1丁目20-2
TEL:099-214-3693
www.norm92.co.jp

自社のPRとビジネス発信の場として出店しています。排煙設備が中心となっている当社ですが、デザイン性に優れたTIGRANなどの建具製品を中心とした新築への対応、リフォーム等、様々な業務を行っています。お客様に当社を知ってもらう事が重要と参加を決めたのがきっかけです。



藤安醸造株式会社
味噌・醤油・食酢
鹿児島市谷山港2丁目1-10
TEL:099-261-5151
www.hishiku.co.jp

かしんチャレンジマーケットに参加するようになり、新商品のPR、また自社商品の案内を行い、お客様からの生の声を聞けることがこのイベントの一番のポイントだと思っています。ヒシクの商品は、味噌、醤油、加工品、食酢と幅広く取り扱っており、宣伝販売では、お客様からの「美味しい」の一言で頑張れます。

出店者も随時募集しています。お問合せは本店又は各支店まで。

3 オロシティー夏祭り

当金庫は、各種地域貢献活動の一つとして、地元の夏祭りにも積極的に参加しており、平成28年8月6日（土）に開催された、鹿児島総合卸商業団地協同組合主催のオロシティー夏祭りでは、当金庫南栄支店が子供向けのお面販売やスーパーボールすくいを出店し、谷山地区最大の夏祭りに協力させていただきました。

また、当日は当金庫吹奏楽部がパレードで夏祭りのオープニングを飾り、オープニングセレモニーで行われる恒例の「組合歌斉唱」では、パレードに続き、組合歌の伴奏を吹奏楽部が努めさせていただきました。33年続く夏祭りにおいて、組合歌を生演奏で歌われたのは初めての試みであり、皆様から好評をいただいております。

ほかの支店においても、地域ごとの行事に積極的に参加し、地域に密着する金融機関として地域貢献につとめております。



2 第6回アロハハワイアンフェスティバル in Kagoshima

平成28年10月10日（月・祝）鹿児島市民文化ホール（第2）において、「第6回アロハハワイアンフェスティバル in Kagoshima」が開催されました。本大会も第6回を迎え、ハワイアン愛好家の方々はもちろん、老若男女多くの方が参加され、ハワイアン音楽と優雅なフラを楽しむイベントとなっております。今回のテーマは「つなぐAloha とどけ Aloha Spirits」となっており、ハワイからのミュージシャンやダンサーによるパフォーマンスを通じ、本物のハワイアンの素晴らしさを感じることができると同時に、高齢化社会を迎え核家族化の進む中、教育や環境不安など沈みがちな昨今、平穏な時間が持て、すべてのものが「Aloha（愛）」で結ばれ「Aloha（愛）」の精神が広がっていくようにという願いがこめられています。当金庫も本大会の趣旨に賛同し、「音楽の杜」の事業の一つとして特別協賛させていただいており、当日は当金庫職員もボランティアスタッフとして協力させて頂きました。

今回も、フラダンスのステージ、ハワイアンバンド、生演奏とフラダンスのステージをはじめ、松井貴志氏（ギター）、山田john泰介氏（ウクレレ）によるユニット「まつじょん」による生演奏やゲストダンサー「テレサ」、「ジョブリン」、「カリッサ」、「クム デニス」によるダンスなど国内外の素晴らしいゲストによる華やかなゲストショーも行われ、来場された皆様の心に残る充実したイベントとなりました。また、主催者のアロハハワイアン実行委員会は本大会の収益の一部をNPO法人やユニセフに寄付を行い、皆様の「Aloha（愛）」を幅広く社会に役立てております。



▲かしんナレイガールズ

1 チャリティー演奏会

当金庫は、社会貢献活動の一環として、毎年、チャリティー演奏会を開催しています。平成28年度は10月1日（土）に鹿児島市民文化ホール（第2）で開催いたしました。

今回のチャリティー演奏会は、全3ステージ構成となり、第1ステージは当金庫吹奏楽部による「クラシックステージ」として「ミュージカル ミスサイゴン」など演奏を披露し、第2ステージは「アラカルトステージ」として今回のゲストである「サウンズ・ウインド」による素晴らしい演奏や「サンタ☆フラスタジオ」、「かしんナレイガールズ」によるフラダンス、「マジックショー」とアラカルトの名前の通り様々なジャンルの方々が出演され、華やかなステージとなりました。第3ステージでは「ポップスステージ」として、当金庫吹奏楽部が「ALWAYS 3丁目の夕日 メインテーマ」、「となりのトトロメロデー」など、おなじみの曲を演奏しました。

今年のチャリティー演奏会も各ステージ素晴らしい内容となり、来場された方々も大きな盛り上がりを見せていました。創部80年を超える「かしん吹奏楽部」はこれからもこの歴史と伝統を大切に、音楽を通して皆様方に少しでもお役に立てるよう、部員一同努力してまいります。

また、皆さまから寄せられた慈善会員券の売上金と寄付金の浄財は、全額、社会福祉事業等へ寄付いたしました。皆様の善意に深く感謝申し上げます。





かしんの取り組みが全国誌「財界」(発行所:株)財界研究所) 2016年5月24日号に掲載されました。



80年以上の歴史を持つ吹奏楽部による社会貢献が注目 「かしんの杜」を中心としたさまざまな活動を通じて地方創生をサポート 鹿児島信用金庫

鹿児島信用金庫(本店・鹿児島市、理事長 後藤孝行氏)は、地域社会に根差したきめ細かな活動を通じ、地域経済の活性化とまちづくり支援に取り組んでいる。また、吹奏楽部による独自の社会貢献活動も注目されている。1922年(大正11)の創業以来、地域の中小企業・小規模企業、そして住民とのつながりを第一に地域密着金融機関に徹している同金庫を訪ね、最近の活動を中心に話を聞いた。



後藤孝行理事長

県内全域に店舗を展開

かしんの愛称で親しまれている

同金庫は、信金では珍しく県内全域を営業エリアとし、44店舗(代理店を含む)のネットワークを築いている。大半の店舗は、出店してから40年以上経過しており、まさしく地域社会に溶け込んでいる。当然、鹿児島市内がメインとなるが、「過疎地域の不採算店舗でも撤退は一度も考えたことはありません。相互扶助・非営利制度を基本理念とする信金の原点

地域とのつながりを強化

同金庫は、地場企業の経営改善と地域社会の活性化を図るため、「かしんの杜」(かしん総合人材育成構想)活動を行っている。「か

しんの杜」は、①経営の杜、②音楽の杜、③教育の杜、④スポーツの杜、⑤緑の杜、⑥その他で構成され、支援活動は多岐にわたっている。

「経営の杜」の柱のひとつ、96年に開講した「かしん経営大学」は、1年間集中して経営戦略などを学ぶスクール形式の講座で、鹿児島県内に約800名の卒業生がいて、起業するなど大きな成果を上げています。そして、2015年度からは「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(地方創生)にかかる新たな取り組みとして、「かしん経営大



本店

学公開講座」をスタートさせている。96年の開講以来、19年間蓄積された数多くのアイデアを活用し、各自自治体・地域住民に向けて、地方創生のきっかけづくりとなるような地域の特性に合った具体的なプロジェクトの提案を行っている。

「地方創生は、これまで信金が行ってきた活動とほぼ同じなので、最も得意とする分野であり、経験やノウハウが大いに活かされています」と語る後藤理事長は、県や各市町村だけではなく、その地域で活動する企業、その地域で暮らす住民が参加することが重要で、

具体的な事業プランの提案まで、公開講座では取り組んでいるという。

また、「かしん経営大学」卒業生のフォローアップとして、「かしんビジネスチャレンジプラザ」事業を行っている。そのひとつが「かしんチャレンジマーケット」だ。同金庫の顧客・経営大学の卒業生を対象に、対面販売を通じた商品のPR販売や、従業員の売る気と売る技術を磨くとともに、顧客の反応を実感できる場として人気だという。

企業ボランティアの先駆け

同金庫の特徴のひとつが吹奏楽部を通じた社会貢献活動である。35年(昭和10)に創部され、45年(昭和20)の鹿児島大空襲で楽器・楽譜すべてが焼失し、一時活動が中断された以外は、現在に至るまで活動が継続されている。創部当時は出征兵士の見送りや慰問演奏等を数多く行い、戦後復興では住民を元気づけたそうだ。

また、49年(昭和24)に始まり、今では南九州最大の夏祭りに発展した「おはら祭(鹿児島市)の音楽パレード」には第1回から連続出場し、第50回記念では鹿児島市長より功労賞が授与された。さらに、75年(昭和50)以来、毎年チャリティー演奏会を開催し、売上金全額を社会福祉施設へ寄付し続け、総額は2千万円を超えている。こうした活動が企業ボランティアの先駆けとして、92年に鹿児島県社会福祉協議会より「民間企業ボランティア活動モデル企業」の指定を受け、活動範囲が広がり、94年鹿児島県知事賞受賞、95年全国ボランティアフェスティバルで厚生大臣賞受賞、98年には第1回全国信用金庫社会貢献賞・奨励賞も受賞している。

「80年以上の歴史を持つ吹奏楽部がある信金は、恐らくほかになんとも思いません。現在、部員はレギュラーで約30名。私も支店次長になるまで15年以上在籍し、ベースを担当していました」と語る後藤理



吹奏楽部によるチャリティー演奏会

事は、学生時代からハワイアン音楽に親しみ、地元の音楽祭などに吹奏楽部の一員として時々参加し、スチールギターやウクレレを披露しているそうだ。今では入部目的に就職する学生もいるほど、吹奏楽部は同信金の顔となっている。

職員一人ひとりがお客様目線に立つて行動し、地域住民から信頼される金融機関を目指すかしんが、つなぐ地方創生の動向に、今後も注目したい。

■ 本店 / 鹿児島市名山町1-23 TEL(099)223-0141 http://kashin.co.jp/



地域の交流拠点となっている「かしんホールビル」(高見馬場支店)

ローンのお申し込みは Web申込が便利です

来店不要型ローンの取扱をはじめました



来店不要型
対象商品

「かしんカーライフプラン」「かしん教育プラン」「かしんリフォームプラン」
「かしん個人ローン」「かしんカードローン」 ※その他にもWeb申込できるローンがございます。

使い方、あなた色。 Web OK!!

かしんフリーローン モア

プレミアム + インターネット
レート5.5% お申し込みで
ご融資利率 **5.0%** (ネットお申し込みで-0.5%が適用)

インターネットのお申し込みで金利が...
-0.5% (各種ご融資利率から)

お借換え OK!

専業主婦 パートの方も
ご利用OK!

かしん *for Ladies*
カーライフプラン 特別金利 2.0%

九州しんきん VISA/JCB カード & カードローン お持ちの方だけの特別金利

女性応援ローン

かしんカードローン

パート・アルバイト・主婦の方もお申し込みいただけます

かしん きやつする Web OK!!
カードローン

主婦・パート・アルバイトの方もOK!

いつでもご利用・ご返済をお考えの方は
カードローン

借入利率(年) **2.8% ~ 14.6%** 最高 900万円

下記フリーダイヤルまで(携帯電話からもご利用になれます)
0120-99-8761

24時間365日OK
パソコン・スマートフォン・携帯電話
http://skgt.jp/3990/

お電話でのお申込が大変便利です

ローン 土曜相談会

開催日時 毎月第3土曜日 9:30~17:00

お仕事等で平日なかなか来店できない方、
どうぞお気軽にご利用ください。

人、ふれあい、街、いきいき。 かしん 鹿児島信用金庫

LINE はじめました!

※詳しくはホームページの説明書をご確認ください。
http://kashin.co.jp/

ホームページQR

(お問い合わせ) 最寄りの本・支店へお問合せください。
鹿児島信用金庫・イブラザ 受付時間/平日 9:00~17:00 ☎ 0120-550-034

・契約内容をよくご確認ください。・収入と支出のバランスを大切に。・無理のない返済計画を。

H28.3.11 サンロイヤルホテル 鹿信ハッピー会連合会 会長会

- 講師/瀬戸口 浩氏(声楽家)
- 演題/音楽～その素敵な世界～

長い間音楽を職業とし、活躍してこられた体験をもとに、一般的にはあまり知られていない音楽家の世界を垣間見ることができました。

お話の中で、「演奏者としての評価は観客から受けるし、観客の素直な評価が演奏者を育てる。」「好きな音楽を職業にできることや、音楽を通じて社会に貢献できることが音楽家の生きがいである。」「自信がないと人生のチャンスは掴めない。」などの話が特に印象に残りました。それは音楽家だけでなく、私達にも通じるものがありました。



H28.5.20 サンロイヤルホテル 鹿信ハッピー会連合会 定期総会

- 講師/榎木 孝明氏(俳優)
- 演題/この今を生きる

講演では去年、扶食を30日間された事(扶食を宣言した途端に空腹感がなく、肉体もそれに準ずるという感じだった)、またそれに至った役者生活40年の中で、20~30代でアジアの辺境の地を数多く旅したなかで、「日本人である前に地球人だ」と思うようになった事、視点をかえると全く違う世界が見えるという事など話されました。

また個人的には4年ほど前から、「時代劇再生運動」というのを全国で活動されており、

1. 年間10本、国主導型で作成する。
 2. 京都近郊に大時代劇村を作る(ゆくゆくは観光地にする)。
 3. 教育をもう一度考え直しましょう。
- というご自身の経験からくる生き方をお話されました。



H28.9.16 サンロイヤルホテル 鹿信ハッピー会 市内ブロック交流会

- 講師/伊牟田 均氏(鹿児島大学 幹事)(前城山観光ホテル社長)
- 演題/日本の課題と観光業の役割について

2020年オリンピック以降も視野に入れた観光の在り方を中長期的に、それに伴う日本の課題として3つに分けてお話し、解説していただきました。

一つは、国の赤字財政問題、二つ目はデフレ脱却、そして最後が人口問題です。

何れも確かなデータに基づき、具体的な事例を取り上げでの丁寧な解説と、3つの課題を解決する成長戦略の柱として観光産業を地域ぐるみで取り組まなければならないとのお話に大いに共感を覚えました。

